



# 2024年9月期 第2四半期 決算説明資料

**PCIホールディングス株式会社**  
(東証スタンダード市場：3918)

2024.5.9

# 目次

## 主なリリース

1. 2024年9月期 第2四半期 決算報告
  2. 中期経営計画「PCI-VISION 2026」への  
取組み状況
  3. 主要トピックス
  4. 株主還元
- (参考) P C I グループについて

# 2024年9月期第2四半期の主なリリース



リリース日付	分類	内 容
2024年1月11日	適時開示	譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ
1月12日	総会通知	第19回定時株主総会 動画
1月29日	適時開示	譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分の払込完了に関するお知らせ
2月7日	決算短信	2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
2月7日	決算短信	Consolidated Financial Results for the Three Months Ended December 31, 2023
2月7日	適時開示	2024年9月期 第1四半期決算説明資料
2月7日	IR資料	Briefing Materials of Financial Results for the Three Months Ended December 31, 2023
2月13日	有価証券報告書	2024年9月期 第1四半期報告書
2月14日	IR資料	2024年9月期 第1四半期決算説明 動画
2月16日	その他	2月8日発売の雑誌「月刊総務」がPCIソリューションズ(株)の「電子印鑑GMOサイン for Slack」を紹介
2月19日	その他	当社グループのクラウドサービスへの不正アクセス発生について
2月22日	適時開示	2024年9月期 第1四半期 決算説明に関する質疑応答集

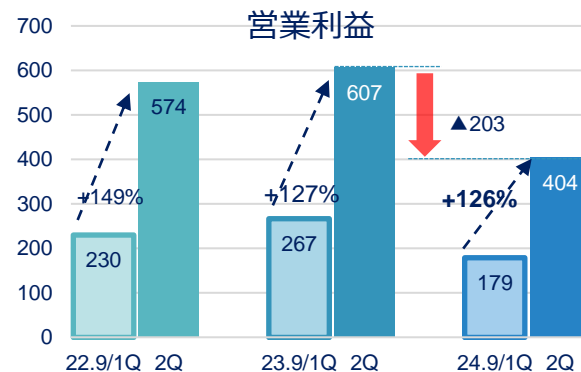
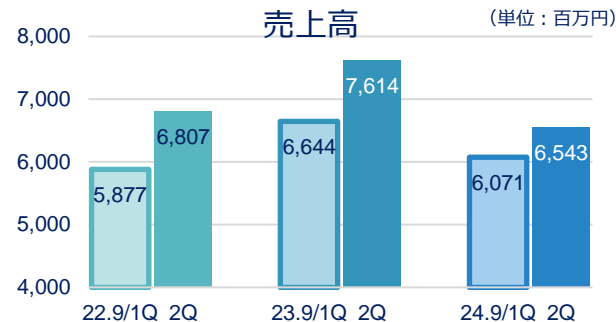
2024年9月期 第2四半期  
決算報告



# 2024年9月期 第2四半期 連結業績

- 前年度における子会社の離脱により、売上高および各利益項目は減収減益ながら、四半期単位では増収増益を確保
- 営業利益は上期計画対比で▲47百万円の未達だったが、利益率の高い子会社の離脱にも拘わらず、四半期単位の伸びは前年度並みの+126%、営業利益率も2Qは1Q比+3.2p上昇し倍増の6.2%

(百万円)	23/9期 上期	24/9期 上期	前年 同期比	計画比	1Q→ 2Q比
売上高	14,258	12,615	▲1,643	+ 15	+ 471
売上総利益	3,362	2,923	▲439	-	+ 191
売上総利益率	23.6%	23.2%	▲0.4p	-	+ 1.3p
販管費	2,487	2,339	△147	-	△33
営業利益	875	583	▲291	▲47	+ 224
営業利益率	6.1%	4.6%	▲1.5p	-	+ 3.2p
経常利益	894	607	▲287	-	+ 190
親会社株主に帰属する 四半期純利益	503	330	▲173	-	+ 98
EBITDA	1,056	748	▲307	-	+ 224



# 売上高、営業利益の前年同期比増減要因

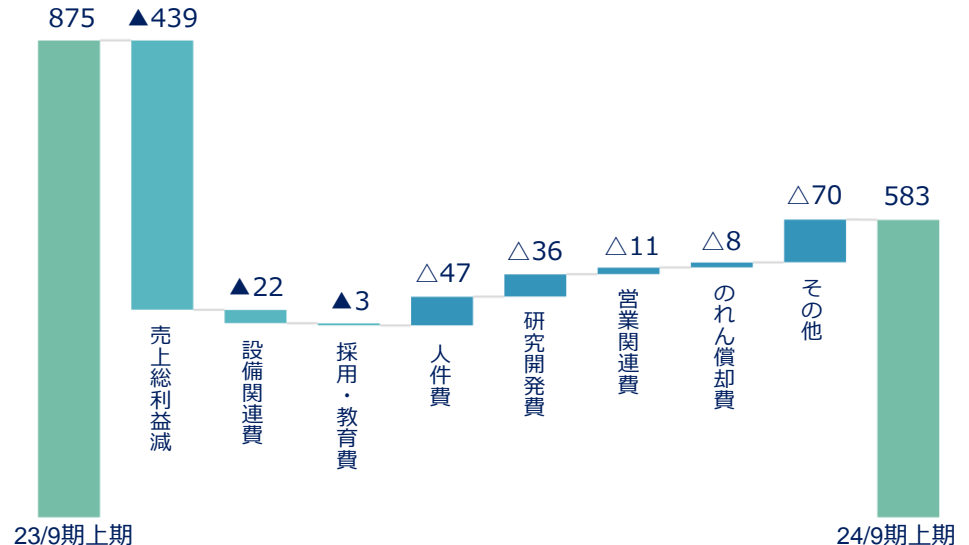
- 売上高はエンジニアリング事業のみ増収ながら、プロダクト／デバイス事業、ICTソリューション事業は減収
- 売上総利益は▲439百万円減益となったが、販管費を△147百万円抑制したことにより、営業利益の減少幅は▲291百万円に縮小

## 売上高



## 営業利益

(単位：百万円)



# 事業セグメント別業績

- エンジニアリング : AUTOSAR/BEV関連の引合いが強く技術者をシフト、産業・流通向けもデジタル化・DXの流れで堅調
- プロダクト/デバイス : 組込みPCは仕入・販売価格の統制が奏功、半導体は設計・テストが好調でターンキーも売上に貢献
- ICTソリューション : 子会社離脱の影響大ながら、自社パッケージの販売やプラットフォームやクラウドとの連携案件が収益寄与

(百万円)	24/9期上期		売上総利益		セグメント利益		
	売上高	前年同期比	(利益率)	前年同期比	(利益率)	前年同期比	
エンジニアリング 事業	6,780	+361 (+5.6%)	1,484 (21.9%)	+6 (+0.5%)	591 (8.7%)	▲13 (▲2.2%)	安定 コア 事業
プロダクト/デバイス 事業	4,537	▲800 (▲15.0%)	1,011 (22.3%)	+177 (+21.3%)	262 (5.8%)	+109 (+71.5%)	
ICTソリューション 事業	1,356	▲1,201 (▲47.0%)	452 (33.3%)	▲623 (▲58.0%)	111 (8.2%)	▲383 (▲77.5%)	成長 ドライバー
連結業績	12,615	▲1,643 (▲11.5%)	2,923 (23.2%)	▲439 (▲13.1%)	583 (4.6%)	▲291 (▲33.3%)	

## (参考) 連結貸借対照表

- 総資産は16,643百万円で、23年9月末比▲984百万円減少。負債は7,470百万円で、同▲1,057百万円減少
- 純資産は9,172百万円と同+73百万円増加。この結果、自己資本比率は前年度末比+3.5p改善して52.2%
- 第1四半期の決算/季節要因や自己株式取得に加えて、第2四半期の利益の蓄積および借入等の返済が主な増減要因

(単位：百万円)	23/9期	24/9期2Q
流動資産	12,505	11,685
現預金	4,108	3,393
売上債権	6,450	6,255
その他	1,947	2,037
固定資産	5,120	4,956
有形固定資産	854	881
のれん	1,779	1,689
その他	2,487	2,386
資産合計	17,627	16,643

(単位：百万円)	23/9期	24/9期2Q
流動負債	6,998	6,179
仕入債務	2,985	2,842
借入・社債	833	592
その他	3,180	2,745
固定負債	1,530	1,291
借入・社債	755	511
退職給付に係る負債	155	148
その他	620	632
負債合計	8,528	7,470
純資産合計	9,098	9,172
負債純資産合計	17,627	16,643



# (参考) 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業CFは、税前三半期純利益が6億円となったものの、賞与・法人税等の支払もあって1億円の収入
- 投資CFは、投資有価証券売却により0.8億円の収入。財務CFは、借入返済、自己株式取得、配当支払いで9億円の支出
- フリーCFは、2億円の収入。現金同等物の上期末残高は前年同期比+10億円増の33億円

(単位：百万円)		23/9期上期	24/9期上期
営業活動によるCF		606	131
㊦	税金等調整前四半期純利益	890	613
	減価償却費	82	74
	のれん償却費	98	90
	売上債権増減	△593	192
	棚卸資産増減	245	△25
	仕入債務増減	282	△142
投資活動によるCF		△695	84
㊦	有形固定資産取得	△60	△75
	投資有価証券取得	△63	—
	連結の範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出	△517	—
フリーCF		△88	215

(単位：百万円)		23/9期上期	24/9期上期
財務活動によるCF		△218	△911
㊦	長期借入による収入	527	—
	長期借入金の返済による支出	△456	△470
	自己株式の取得による支出	—	△199
	配当金の支払額	△160	△171
	非支配株主への配当金の支払額	△116	△53
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,310	3,339

# 中期経営計画「PCI-VISION 2026」への取組み状況



# 事業セグメント別の基本戦略と具体的施策

- 「PCI-VISION 2026」をスタートさせて半年が経過。各事業セグメントとも基本戦略に基づき、取組み施策、リソース投入に順次着手し推進中。施策ごとに多少の差異はあるものの、全体としては順調に進捗

事業セグメント	基本戦略	取組み施策	投資施策
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>①収益性の高い事業領域への集中</li> <li>②成長期待の技術力を確保・育成</li> <li>③プライム案件の獲得・拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①モビリティ(In/Out)・SCM・ERP等に集中</li> <li>②AUTOSAR/ BEV関連技術等の蓄積</li> <li>③請負化の拡大、PM人材の増強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①技術者の投入拡大</li> <li>②教育投資、M&amp;A投資</li> <li>③PM人財の育成・確保</li> </ul>
プロダクト/ デバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>④少量ながら高収益な新製品開発</li> <li>⑤受託業務の複合化</li> <li>⑥他社連携拡大によるシナジー創出(共創)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④センサーボード、特定目的PC等の開発</li> <li>⑤・PC関連の周辺サービス業務の捕捉 ・LSIターンキーサービスの拡大</li> <li>⑥グループ内/外連携強化、外部知見取込</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④R&amp;D投資、教育投資</li> <li>⑤教育投資、人員投入</li> <li>⑥人材交流、業務提携</li> </ul>
ICT ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦強みのある分野の明確化・拡大</li> <li>⑧顧客要望を起点としたソリューション開発</li> <li>⑨ソリューションのパッケージ化・拡販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦クラウド連携、AI画像解析等に注力</li> <li>⑧顧客ニーズの捕捉力を強化(営業力+他社連携)</li> <li>⑨PM人材の増強、ベンダー等連携の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦R&amp;D投資、人員投入</li> <li>⑧人員投入、業務提携</li> <li>⑨PM人財育成・確保、業務提携</li> </ul>
コスト マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩間接機能のスリム化</li> <li>⑪調達・購買能力の向上</li> <li>⑫DX推進による生産性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩グループ内間接部門の再編・集約</li> <li>⑪商流の見直し、顧客折衝能力の強化</li> <li>⑫生成AIの積極活用(事業、内部業務)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩間接人員削減</li> <li>⑪外部連携、人員投入</li> <li>⑫教育投資、設備投資</li> </ul>

# 主要事業の状況

- 中期経営計画において業績伸長の寄与が大きな主要事業についての基本戦略を明確化

事業セグメント	主要事業	基本戦略	進捗状況
エンジニアリング	産業・流通	SCMやERPの受注量/質の拡大、InCarを足掛かりにOutCarへ参入	受注は順調、OutCarはやや苦戦
	モビリティ	電動化・自動運転の動き→自動車・建機等の制御系を中心に拡大	InCar(AD/ADAS等)に技術者集約中
	ネットワーク	顧客・案件の選択と集中、AI/画像認識技術等による差別化を促進	顧客選定中。画像認識技術は要改善
	インフラ	クラウド型のインフラ+ネットワーク、メインフレームのオープン化対応	広いカバレッジの技術基盤の構築中
プロダクト/ デバイス	LSIターンキー	ターゲット顧客の絞込み・攻略、時間軸の長い成果刈取りへの対応	第1号および第2号案件進捗中
	新規HW製品	顧客要望の強い基盤のプラットフォーム化、PC周辺装置の開発・拡販	IoT/Edge製品とプラットフォーム開発中
	特定用途向PC	既存顧客の更新需要の捕捉、地域戦略立案による販路開拓・拡大	6月に新製品投入。好感触
ICT ソリューション	DIソリューション	アマコネやサーバーレス等開発、AIカメラによる後方・見守り検知拡大	クラウドに軸を移行。AI技術の洗練
	ODMサービス	センサーメーカー・商社等連携による創案、グループ内シナジーの発揮	複数のPoC案件進捗中

# (参考) 中期経営計画最終年度の数値目標

- 事業部門別に掲げる基本戦略を着実に遂行するとともに、資本コストや株価を意識した経営を実践することで、2026年9月期には中期経営計画の目標である【ROE $\geq$ 15%】、【ROIC $\geq$ 15%】、【PBR $\geq$ 2倍】の実現を目指す

	23年9月期 実績	26年9月期 計画 (注1)	26年9月期 スプレッド計画	株主資本コスト率(%)
<b>PBR(倍)</b>	1.24	$\geq 2.00$		
<b>ROE(%)</b>	12.3	$\geq 15.0$	(+6.0~6.5)	(8.5~9.0)
売上高当期利益率(%)	3.5	$\geq 4.9$		
総資本回転率(%)	165.0	(150.0~160.0)		
財務レバレッジ	2.11	(2.00~2.20)		
<b>PER(倍)</b>	10.5	(13.3)		
株主資本コスト率(%) (注2)	8.5~9.0	(8.5~9.0)		
期待成長率(%)	1.0~1.5	(1.0~1.5)		
<b>ROIC(%)</b>	11.3	$\geq 15.0$	(+7.0前後)	WACC(%) (8.0前後)

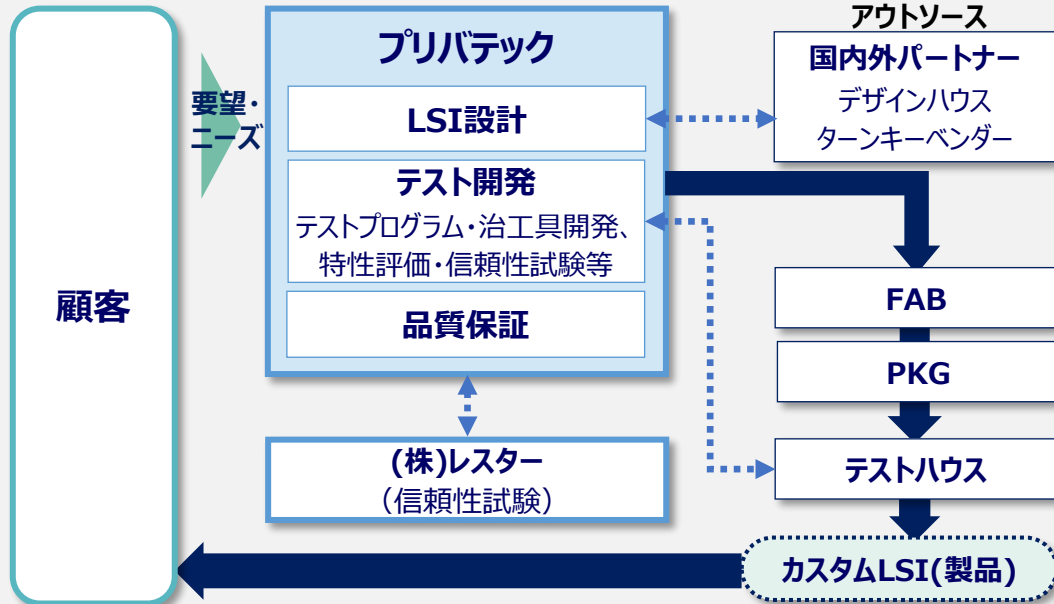
(注1) ( ) 付き数値は内部目標、(注2) 株主資本コスト推計値：CAPM 9.0%程度、インプライド 8.5%程度

# 主要トピックス



- ・顧客の求める用途や品質・性能に応じた最適なLSIを設計から試作・量産まで一貫して対応
- ・プリバテックの強みに外部パートナー等の能力を組み合わせることで、フロー上のどの工程からでも請負うことが可能

## LSIターンキーサービス・フロー



## プリバテックの強み

**大手半導体メーカーとのビジネスで培ったLSI開発力** (特に設計やテスト)

**LSI設計～テスト開発までシームレスな対応**  
 【豊富なエンジニア】  
 ・設計：50名+  
 ・テスト：80名+

**デザインハウス・テストハウス等、国内外パートナーとの連携、豊富なネットワーク**

**海外パートナーやクラウド設計環境を活用したデジタル設計ツールのコスト競争力**

# 特定用途向けパソコン SORD

・株式会社ソードが本年6月以降に販売を予定する特定用途向けパソコンと、そのオプション機能であるSafety ShutdownをJapan IT Weekに出展（関西：24年1月、東京：24年4月夫々実施済み）

## 【想定される使用イメージ】



### 案内板等のデジタル サイネージ

FAB-s110とSafety Shutdownを組合わせて利用することで、停電時にも、継続して機能させることが可能



### 飲食店等のオーダー 端末

FAB-s110とタッチパネルの組合わせで、チケット販売やオーダー端末として利用



ディスプレイ背面



ディスプレイ下

### 設置場所

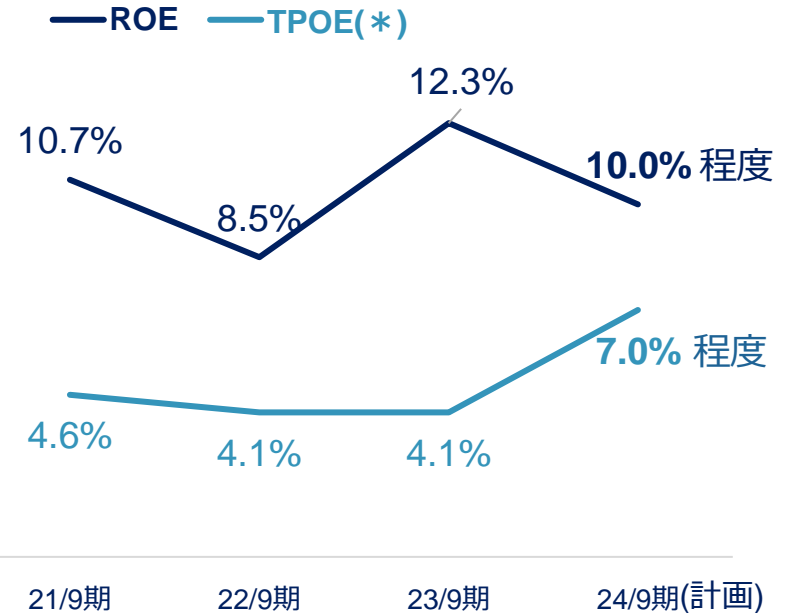
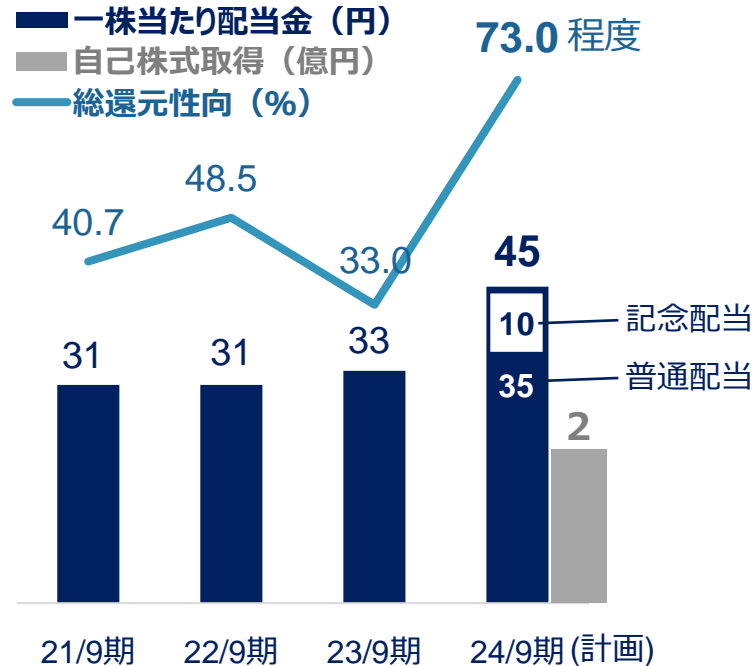


2024年9月期  
株主還元



# 株主還元

- 24年9月期は創業第20期となることから、従来からの増配計画に加えて記念配当(期末配当に+10円上乘せ)を実施  
⇒ 年間配当額は、前年度比+12円増配の45円(中間17円、期末28円)
- 既に実施済みの2億円の自己株式取得と合わせて、24年9月期の総還元性向は73%程度となる見通し



(\*)TPOE : Total Payout on Equity、株主資本総還元率

# Company Profile



## 企業理念

我々は、お客様の満足を通じて全社員の幸せを追求し、  
そして社会の発展に貢献します。

PCIに込められた意味  
積極的(Positive)に、  
変化(Change)を求め、  
革新(Innovate)する

商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	2,091百万円 (2023年9月末現在)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	28,491百万円 (2023年9月期実績) 26,300百万円 (2024年9月期予想)
上場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード: 3918)	営業利益 (連結)	1,709百万円 (2023年9月期実績) 1,510百万円 (2024年9月期予想)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,597人 (2024年3月末現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 横山 邦男	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株) ソード (株) プリバテック

# PCIグループの構成

## PCIホールディングス



PCI Holdings, Inc.

<https://www.pci-h.co.jp/>

代表者：天野 豊美  
横山 邦男

設立：2005年4月  
資本金：2,091百万円

- ・グループ企業統括
- ・コーポレートアクション計画・推進
- ・グループ全体の内部統制・内部監査
- ・財務・経理、資金調達等の集中管理

資本業務  
提携



## レスター

(東証プライム：3156)



50%

100%

100%

50%

## PCIソリューションズ



PCI Solutions INC.

<https://www.pci-sol.com/>

代表者：天野 豊美  
守屋 元雅

設立：2012年9月  
資本金：360百万円

組込みソフトウェア開発、金融・  
製造・流通向けシステム開発、  
クラウド連携/AI関連ソリューション

## ソード

SORD

<https://www.sord.co.jp/>

代表者：須藤 裕二  
設立：1970年4月  
資本金：499百万円

組込みPC・コントローラーの  
開発・製造・販売・保守、  
キット、コールセンター

## プリバテック

PRIVATECH

<https://privatech.jp>

代表者：山下 泰弘  
設立：1989年4月  
資本金：100百万円

電子回路・制御ソフトウェア開発、  
LSIターンキー/半導体テスト関連  
サービス、ODM/SIサービス

# 事業会社と事業内容



## PCIソリューションズ

業界や領域を問わず技術力を提供するソフトウェアエンジニアリング会社。特に組み込み系開発に強み

## ソード

日本初のPC製造。創業来50年の歴史と信頼高い技術力を有する組み込みPCメーカー

## プリバテック

半導体設計・テストの技術を強みとしたシステムエンジニアリング会社。首都圏至近のテストハウス

### エンジニアリング事業

幅広い産業分野におけるお客様の要求・仕様を実現する情報技術サービス

- 組み込みソフトウェア受託開発  
(メーカー：自動車・通信・情報家電向等)
- 一般ソフトウェア受託開発  
(SIer：金融、流通、製造、官公庁等)

- キットینگ・サービス  
(SIer・メーカー：医療・小売等)
- コールセンター・サービス  
(メーカー：PCヘルプデスク等)

—

### プロダクト／デバイス事業

特定産業でのハードウェア製品・デバイスの設計・開発・販売

—

- 組み込みコンピュータ開発  
(メーカー：医療機器・印刷機等)
- エッジ用コンピュータ開発  
(SIer：医療・小売等)

- 半導体設計・テストサービス  
(半導体メーカー)
- LSIターンキーサービス  
(電子デバイスメーカー)

### ICTソリューション事業

幅広い分野でのICTを活用したコンサルティング・サービス等による課題解決

- AI活用ソリューション
- クラウドサービス インテグレーション

—

- ODMサービス(IoTソリューション等)
- SIサービス(AI活用ソリューション等)

テーマごと・案件ごとに相互に連携

# 役員体制・拠点一覧

## 役員体制

役職	氏名	経歴等
代表取締役会長	天野 豊美	日本エヌ・シー・アール(株) 常務取締役 (株)しんきん情報システムセンター 理事
代表取締役社長	横山 邦男	(株)三井住友銀行 常務執行役員 三井住友アセットマネジメント(株) 代表取締役社長兼CEO 日本郵便(株) 代表取締役社長執行役員社長
専務取締役	堀部 保弘	(株)三菱総合研究所 執行役員ソリューション事業本部統括室長 PCIソリューションズ(株) 代表取締役社長
取締役	井口 直裕	Profit Cube(株) 経営企画室長
取締役	杉園 和也	Profit Cube(株) 財務経理室長
社外取締役	小野 種紀	ゴールドマン・サックス証券パートナー・マネージング・ディレクター (株)三井住友銀行執行役員 日本郵便(株)専務執行役員 日本郵政キャピタル(株)代表取締役社長
社外取締役 (常勤監査等委員)	太平 博一	大蔵省銀行局特別金融課課長補佐 金融庁検査局検査監理官 有限責任監査法人トーマツ金融コンサル部門ディレクター (株)地域金融研究所取締役理事長
社外取締役 (監査等委員)	高原 明子	三菱商事(株) ウォンテッドリー(株) 社外取締役 (監査等委員) (株)リップ・コンサルティング社外取締役 (監査等委員)
社外取締役 (監査等委員)	野村 昌弘	朝日監査法人 (現有限責任あずさ監査法人) アヴァンセコンサルティング(株)代表取締役 あがたグローバル税理士法人 日本公認会計士協会東京会幹事
社外取締役 (監査等委員)	坂栄 鷹子	農林水産省 井垣法律特許事務所

## 拠点一覧



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、  
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり  
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

**<お問い合わせ先>**

**PCI ホールディングス株式会社 IR室 (小暮)**

**E-mail : ir@pci-h.co.jp**



*Positively, Change, Innovate*

～積極的に、変化と革新をし続ける～

